

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第2週（令和7年1月6日～令和7年1月12日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第2週は、百日咳の報告が9件ありました。百日咳にかかると、風邪のような症状が始まり、百日咳特有の咳が出始めます。典型的な症状は、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳き込み、最後にヒューッと音を立てて大きく息を吸うけいれん性の咳発作で、しばしば嘔吐を伴います。1歳以下の乳児、特に生後6か月以下では重症化しやすく、亡くなってしまうことがあります。百日咳はDPT-IPV-Hib五種混合ワクチンで予防が可能で、生後2か月から定期接種が可能となっています。定期接種については、お住まいの市町村の予防接種担当窓口までお問い合わせください。また、感染予防及び感染拡大防止のため、咳エチケットや手洗いを励行し、長引く咳等の体調の異変を感じた時は、早めに受診しましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	15	23	23
腸管出血性大腸菌感染症	1	3	9	9
腸チフス	1	1	0	0
レジオネラ症	2	2	14	14
ウイルス性肝炎	1	1	0	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	11	11
侵襲性肺炎球菌感染症	5	11	70	70
梅毒	12	15	17	17
百日咳	9	13	25	25

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	736	3.74	1.34	22,357	5.32
インフルエンザ（警報レベル）	6,920	35.13	0.87	141,998	33.82
RSウイルス感染症	29	0.24	1.53	446	0.17
咽頭結膜熱	46	0.39	1.44	310	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	353	2.97	3.10	1,608	0.61
感染性胃腸炎	544	4.57	3.46	2,881	1.09
水痘	53	0.45	1.23	365	0.14
手足口病	12	0.10	2.40	233	0.09
伝染性紅斑	24	0.20	3.00	428	0.16
突発性発しん	31	0.26	4.43	138	0.05
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	10	0.00
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	38	0.01
急性出血性結膜炎	0	0.00	－	9	0.02
流行性角結膜炎	11	0.42	2.75	124	0.22
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	－	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	27	1.80	2.70	368	0.77
クラミジア肺炎	0	0.00	－	－	－
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	11	0.02

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。